

2019年3月4日

あおぞら投信株式会社

「目の前の その日の結果に 右往左往 一歩下がって 遠きを見るなり」

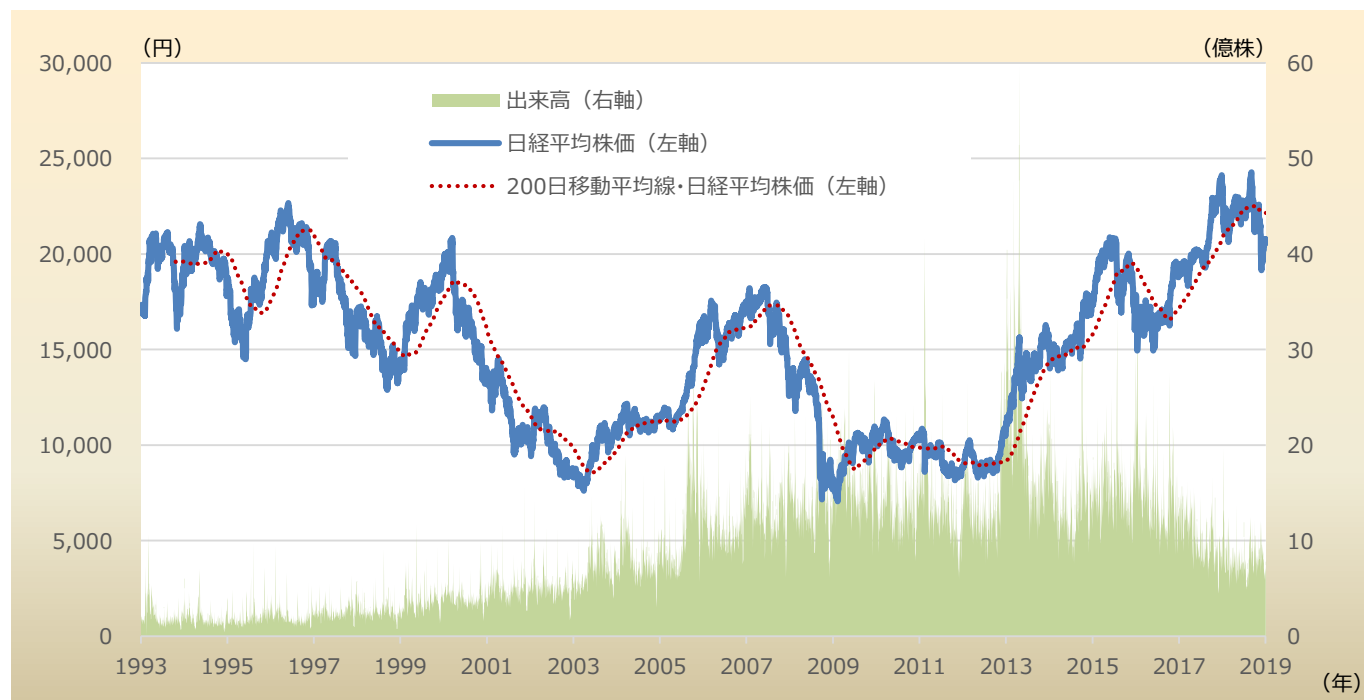
今や日本の多くの企業の決算は、年度(1年間)決算でもなく半期(6ヶ月)でもなく四半期(3ヶ月)決算となり、計画と結果のせわしない繰り返しが行われている状態です。一方、金融危機以降、早くに四半期決算を取り入れた欧米では、Short-Termism(短期志向)の在り方を是正する動きが出てきています。やはり企業にとっては中長期の価値創造が大切であり、そのための時間軸の環境整備が必要であるという考え方は、このことはこれまで、「投資」というと短期志向の売買益狙いが主流であった日本における投資の考え方にも影響を与えていると思います。

日本では古くから『急いては事を仕損じる』と言い伝えられてきましたが、世の中の変化のスピードが上昇する中、『いつも急かされている』投資が増えているのです。『そもそも市場というもの、80%は効率的であるが、20%は非効率的である*』ということからして、この20%の非効率性に収益期待があり、短期的な方法では、この収益機会をみすみす逃してしまうことになりがちです。日本の資本市場の成長のためにも、そして何より個人の資産形成、資産運用の考え方が、5年、10年、30年と時間軸を延ばしていくことが出来るかは、広く金融に携わる者に懸かっていると看做されるでしょう。そのことが、金融の存在意義と深く繋がっていると考えます。先人二宮尊徳の言葉にも『遠きをはかるものは富み、近きをはかるものは貧す』とあるように。

*参考:『お金を増やす一番知的なやり方』ジョン・ケイ著 2018年

柳谷俊郎

日経平均株価と出来高、200日移動平均線の推移 (1993年1月末～2019年1月末)



出所: 日本経済新聞社、東京証券取引所および各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>